

# 突入しては満を持す

# 葉千葉 3月決戦

3.1集会 「ストライキ貫徹・動労千葉ガンバレ」 万余の支援、全国から結集

三月決戦ストの火ぶたは遂に切って落された。三月一日、動労千葉と反対同盟を先頭に、全国から結集した九八〇〇名の闘う隊列は成田市街・駅頭・ホームを埋め尽す弾圧包囲網をもともせず昼間の反対同盟主催の全国総決起集会を意気高くうちぬいた後、直ちに夕刻よりの成田運転区と佐倉機関区でのスト突入総決起集会へとむかった。われわれの決意と体制は今や完全にうち固まっている。全ての組合員の皆さん、ジェット延長阻止、労農連帯の正義の旗を高々と翻えし、三・二からの長期ストライキを敢然とうちぬこう。労働運動の流れを変える、八〇年代の歴史を切りひらくこの三月決戦ストを、権力や公安機動隊、助役機関士や「本部」派裏切り分子のスト破壊策動の重包囲をうちやぶって、堂々と貫徹しよう。

『いかなるスト破りも許さなす！』 連日の支援行動を確認

十三時より開始された「ジェット燃料貨車輸送延長阻止・動労千葉支援・二期工事阻止・空港廃港三・一全国総決起集会」は、反対同盟・内田行動隊長の開会宣言で開始された。主催者を代表してあいさつに立った反対同盟石橋委員長代行は、喜びで顔を紅潮させながら「数時間後に突入する動労千葉のこの歴史的な偉大なストライキを絶対に勝利させよう。労働運動の右傾化の中にあつて大きなハドメをうちこむこの決起にこたえて、反対同盟は用地内を先頭に総力あげて廃港にむけて闘いぬく」と固い決意を述べた。続いて、北原事務局長が「大義はわれわれにあり、正義はわれわれにある。今日から長期の闘いに突入することを確認しよう」と前置きして、動労千葉三月決戦スト支援行動の基調を提起した。

労働者・人民の未来を切りひらく 三月スト 関川委員長決意表明

続いて、動労千葉関川委員長が登壇するや会場は拍手と歓声の渦につつまれた。関川委員長は、全国からの熱い支援に感謝を述べると共に「われわれの闘いはすでに一週間にあたる助役機関士練見訓練阻止闘争の激突をもつて開始されている。追いつめられた国鉄当局は、国鉄史上類例を見ない助役機関士投入にスト破りという悪らつな攻撃に出てきている。このようなスト破りを許すようでは労働運動の未来はない。われわれの連日の怒りの総決起の前に、国鉄当局は遂に「三月二日、三日は助役機関士を投入しない」と発表せざるを得ないところまで追いこまれていく。しかし、一方で大量の権力・公安を総動員しつつ四日からの助役機関士の投入を策するなど、危機にかられた暴力的な弾圧の意図を強めている。そうである以上、三日も四日もそれ以降も、われ

われの闘いは続く。全ての皆さんの熱い支援を要請する」と決意をこめて報告し満場の拍手がこれに応えた。吉岡執行委員からこの歴史的なストライキに対する「最大級の支援とカンパの訴え」がなされた。

集会には北は北海道から南は沖縄まで全ての闘う仲間が総結集した。関西新空港反対を闘う住民永井代表、日本原農民の鷲田氏、忍草母の会渡辺氏、沖縄の金武湾を守る会、柏崎原発反対同盟をはじめとする多くの住民組織、部落解放同盟、長崎造船労組、全金本山労組や、東京実行委・浅田氏、廃港要求宣言の会・前田氏、顧問弁護団など多くの人々が熱烈にスト支援を訴えた。参加者は増々ふくれ上り、会場の熱気は寒さをふきとばす勢いの盛り上りの中、反対同盟からは、用地内・小川嘉吉氏、青行隊・石井新二氏、婦人行動隊・長谷川たけ氏、小川むつ氏が各々、決意表明、報告、カンパの訴えに立ち、最後に熱田副行動隊長の集会宣言、石毛氏のスローガン提起をもって全員のガンパローの大合唱をもって四時すぎ意気揚々の戦闘的大デモンストレーションに出発した。その後、佐倉、成田両スト拠点のろう城態勢に入った動労千葉を支援する仲間たちは、夜遅くまで機動隊・国鉄当局の戒厳体制をつき破り、成田駅佐倉駅を中心に熱気につつまれた支援行動を展開した。

成田・佐倉両スト拠点、 万全の態勢でスト突入！

両スト拠点は、スト突入前夜決起集会で、日暮成田支部長、堀口佐倉支部長の断固たる闘いの宣言のもと、万全の体制をうちかため、スト突入、ろう城体制に入った。そして、動労千葉本部闘争委員会の「スト突入指令」をもって三月二日午前零時、一糸乱れぬストに突入した。 決戦の火ぶたは切って落された。ただひたすらに勝利めざして、団結固く、この決戦ストを闘いぬこう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ